

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 110 号	氏名	稲澤太志
学位審査委員	主査 藤原 卓 副査 水野明夫 副査 戸田一雄		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、閉塞性睡眠時無呼吸の治療法を追求するために、下顎の位置が上気道の開通性に与える影響について解析したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 実行が困難な睡眠時の測定に代わって、ムダゾラムをもちいた鎮静下での測定を行い、必要十分な例数および、睡眠時との相同性も確保しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、下顎を前方位に誘導することで、閉塞圧は有意に減少することが示され、この結果は今後の睡眠時無呼吸の治療法研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は睡眠時無呼吸の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(歯学)の学位に値するものと判断した。</p>			